

## 世界遺産アカデミー認定講師 File No.18

このコーナーでは、世界遺産アカデミーの啓発活動にご支援いただいている世界遺産アカデミー認定講師の方に毎回スポットを当て、お話を伺います。第18回は世界遺産アカデミー正会員の野澤順治(のざわ・じゅんじ)さんです。

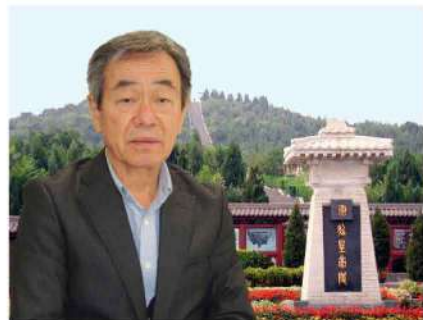
### ——きっかけは、 退職後の時間の過ごし方

2014年度は、世界遺産アカデミーからご紹介いただいた、千葉県船橋市の1館と市川市内の5つの公民館で生涯学習講座を担当しました。また、昨年3月には市川市国際交流協会、市と行政間交流を結んでいるフランスの世界遺産(全39件中の12件)を取り上げて話しました。市川市は国際交流が盛んで、世界の5都市と友好・提携を結んでいます。

公民館での連続講座は1回120分間で、まずは2回にわたって世界遺産の基礎的な総論を丁寧に説明します。3回目

に『富士山—信仰の対象と芸術の源泉』や『富岡製糸場と絹産業遺産群』といった日本の世界遺産、最後の4回目に海外の世界遺産を紹介しました。また、“PCサロン”と呼んでいるパソコン教室の指導員から公民館主催の文化祭で30分間の世界遺産ミニ講座を頼まれたこともあり、生涯学習ボランティア団体の方からも、お声がけいただきました。

参加者の世界遺産への関心の高さには、いつも驚かされます。私の講座をとっても熱心に聴いてくださるのですが、世界遺産を語るには120分という時間は短く、すべてを伝え切れないことが難点です。私の講座を複数の公民館で参加さ



秦の始皇帝陵の今後が気になると語られる、野澤さん

れた方も数名いました。内容は重複してしまいますが、何度も顔を合わせる方々を飽きさせないように、事例として挙げる世界遺産を変えてみたり、小ネタを加えたりしてみました。なかなか難

しかったです。また、素晴らしいだけでは世界遺産に登録されないことや、世界遺産に登録されることの影響を解説するには、政情や歴史背景、文化をきちんと理解しておかなければなりません。恥ずかしながら、教員時代よりも、世界遺産と出逢って以降の方が、机に向かう時間が増えました。どうしてもっと早く世界遺産の講座を開いてくれなかったのですか、と受講生に喜んでいただけたことが本当に嬉しかったです。2015年度もお声がけいただけるのでしたら、もちろん快諾します。

世界遺産との出逢いは、電車内でふと目にした「世界遺産検定」の吊り広告で

した。当時の私は小学校を退職したばかりで、趣味のハイキングとゴルフに加えて、何かもうひとつ挑戦したかったです。チチェン・イツァのポスターに衝撃を受けました。さっそく参考書を購入し、ポケない(笑)“素敵な高齢者”を目指せるとの期待感とともに、世界遺産検定の勉強を始めました。学生時代は山岳会に所属し、昨年まで公益社団法人日本山岳会の会員だった私は、以前から憧れている山々の名前が世界遺産の中に連なっていることに驚き、関心を強めました。社会科専攻の教員でしたので、地域関連性や時代背景を知らないわけではありませんでしたが、世界遺産は知れば知

るほど奥深く、自然、建造物、芸術、音楽、宗教……と魅了され、参考書を開くのが楽しいですね。一方、爆破の傷跡を残す『パーミヤン渓谷の文化的景観と古代遺跡群』や戦禍の真只中にあるシリア・アラブ共和国の危機遺産にしても、異文化理解があれば悲劇を生まなかったのではないかと、教育の大切さを実感させられます。ちなみに、世界遺産検定は2009年の3級受検からスタートし、1級は1度失敗してしまいました。難易度が高く、どのような人たちが合格するのだろうと、愕然としました。ですが、諦めきれず、再挑戦したところ合格でき、2010年にはマイスターにも認定されました。

### ——世界遺産を通じての、 新たな知識と人々との出逢い

旅行から帰国後に写真データをパワーポイントにまとめています。データ作成には時間がかかりますが、世界遺産クラブや講座依頼にも活用でき、自身の記録にもなります。また、まとめる過程で発見もあります。たとえば、先日、築地本願寺に行ったのですが、建築家の伊東忠太が設計・建築したとのこと、この方は中国の『雲崗石窟』を1902年(明治35年)に“再発見”し世に知らしめた方ですが、平安神宮、明治神宮、成田山

新勝寺なども建築した、日本建築史の創始とされている人物です。

世界遺産に新規登録された翌年の2011年に訪れた『小笠原諸島』の素晴らしさは、言葉で表すことができません。歩いているだけで、その大自然の美しさに惹き込まれます。2016年に「3代目おがさわら丸」の就航が開始されますが、観光客や人の出入りが増えることによる自然環境や生態系への懸念は否めません。また、『秦の始皇帝陵と兵馬俑』への興味も高まっています。司馬遷著『史記』に、陵墓内に河、海を作るための工夫として“水銀”が用いられたとの記述があ

り、実際に気化した水銀が調査結果で認められたため、(他の理由もあるようですが)、今は発掘を中止しています。これもひとつの文化財保護かと思うと、興味深いです。

世界遺産のおかげで、色々な方たちと出逢うことができました。教育界は案外狭く、話題も教育ばかり、退職後に世界遺産を通じて知り合った方々との出逢いは強烈で斬新な刺激を与えてくれました。今後も認定講師として、私が心から愛する世界遺産の素晴らしさを、ひとりでも多くの方たちに伝えていきたいと思っています。